

福井市足羽山でミカドミンミンゼミを採集

斎藤 昌弘*

The record of *Oncotympana maculaticollis* f. *mikado*
from Mt. Asuwa, Fukui City, Fukui Pref.

Masahiro Saito*

ミンミンゼミ *Oncotympana maculaticollis* (Motschulsky) は、時に黒斑部が退化し鮮やかな黄緑色の体色になった個体が現れる。この様な個体をミカドミンミン f. *mikado* と呼んでおり、日本産セミ類の中では日本離れした美しさで人気が高い。出現率についての具体的な数値は知らないが、ノーマルな個体と比較して出現率はかなり低いと言われている。ただし、新潟県粟島・筑波山・甲府盆地周辺など一部地域では多産地が知られている。山梨県甲府市武田神社での筆者の採集経験によれば、ノーマルな個体に混じり、およそ10対1の割合と思えた。ただ、完全なミカド型はやはり少ない。福井県において、ノーマルなミンミンゼミは各地に普通に分布しており(なぜか坂井平野の水田地帯には定着していないらしい)、ミカド型も採集されている様であるが、やはり数個体程度と思われる。残念ながら、ノ-

マルな個体と識別されて報告された例は無いらしい。

今回、不完全ながらミカド型に近い個体が採集されたので、以下に報告しておく。

1 ♀, 福井市足羽山不動明王, 2007年8月26日吉澤康暢採集, 福井市自然史博物館所蔵(登録情報: FCMNHI 11655)

ところで、ミカド型は行動が鈍く、上記武田神社ではネットでも捕獲の難しいノーマルに対し、ミカド型は素手でも捕獲する事が出来た。今回の足羽山の個体も地表面を飛翔し、手で捕獲されたと言う。この様な点は、ミカド型の生存率・出現率の低さと関わりがあるかも知れない。

最後に、発表を勧められ写真を提供頂いた福井市自然史博物館館長吉澤康暢氏及び原稿掲載の便宜を図って頂いた同館昆虫担当の佐藤友香氏に感謝申し上げます。



* 〒913-0016 坂井郡三国町三国東4丁目3-23-115

* 4-3-23-115 mikuni-higashi, mikuni-cho, Fukui, 913-0016, Japan